

## 食道がんとは ～治療法について～

1. 切除
2. 放射線治療
3. 化学療法
4. 化学放射線療法
5. サルベージ手術(救済手術)  
重複がんのこと

## 国内初! 手のひら静脈認証装置による 患者認証システムを導入しました

富士通製 PalmSecure (パームセキュア)

## 薬剤科(薬局)のご紹介

～患者さんにお薬をお渡しするまで～

.....  
地域医療連携室からのご案内  
医療相談室のご案内  
恵佑会札幌病院でのPET検査利用のご案内



# 食道がんとは～

食道がんの治療法には、1.切除、2.放射線治療、3.化学療法（抗がん剤）、4.化学放射線療法、5.サルベージ手術があります。そして、さらにこれらを組み合わせる治療法もあります。

## 1 切除

**一般的には外科切除を意味します。**

食道がんは、頸部、胸部、腹部のリンパ節へ広範囲に転移することが多く、この3つの領域の徹底的リンパ郭清を伴う食道切除再建が標準術式です。頸部、右胸部、腹部の3カ所に傷がつき、食道がなくなりますので胃を頸部まで持ち上げ、食道の代わりにします。

手術時間は4～5時間、平均4時間30分、出血量は400ml前後です。

**胸腔鏡を使って胸部の操作を行う  
鏡視下手術が注目されています。**

鏡視下手術は、胸の傷は2～3cmのものが4～5カ所だけで大変すばらしい術式ですが、食道がんはリンパ節転移が多く、しかも広範囲に転移します。

十分なリンパ郭清を行っている、経験豊富な施設でご相談ください。

**内視鏡的に切除する内視鏡的粘膜切除術（EMR）  
あるいは内視鏡的粘膜下剥離術（ESD）があります。**

内視鏡的粘膜切除術（EMR）あるいは内視鏡的粘膜下剥離術（ESD）は、どの症例にもできるのではなく、リンパ節転移のない粘膜がん（表面の浅い部分のがん）の治療が可能です。従って術前の検査が極めて重要です。

最近色々な治療が行われていますが、手術前の診断は全面的に信頼できるわけではありません。深達度（がんが食道壁のどこまで浸潤しているか）は80～90%、リンパ節転移は60～70%の正診率（診断が正しかった率）ですが、治療法を決定するにはこのことも参考にする必要があり、この成績は経験により異なります。

## 2 放射線治療

外科手術と同様、食道がん治療の主な治療法です。根治治療ではおよそ6週間かかり、治療法を決定するにはこのことも参考にする必要があります。

最近では、抗がん剤と一緒に治療することが多くなっています。

# 治療法について～

## 3 化学療法

食道がんでは現在のところ、根治的治療として抗がん剤単独の治療はありません。血行転移（肺、肝臓などの転移）がある例や、再発例に行われます。一般的には、手術や放射線照射と併用されます。

## 4 化学放射線療法

化学放射線療法は、最近注目されている治療法です。以前からある治療法ですが、放射線照射範囲が広い、放射線照射と抗がん剤投与を同時に行う、放射線線量も抗がん剤の用量も多いなど、従来の治療法とは異なる治療法です。

治療法としては決して身体に優しい治療法ではありませんが、食道や胃の機能がのこり、手術の傷がないなどの利点があります。

合併症や副作用も多く、まだ限られた施設でしかできない治療法と考えられます。

## 5 サルベージ手術（救済手術）

サルベージ手術は、放射線療法あるいは放射線化学療法を行った後、食道がんが治りきらなかったり（遺残）、あるいはしばらくしてからがんがでてきたり（再発）した場合に行う手術です。もちろんこの手術を行う基準があるため、全ての方のできる手術ではありません。

大変難しい手術ですが、当院では30%の方がこの手術で救われています。

### 重複がん のこと

がん患者さんが他の臓器のがんに罹ることがありますが、これを重複がんといいます。

食道がんは重複がんの多いがんとして知られています。食道がんの患者さんは食道以外の臓器にがんがでやすく、また他のがんにかかった方が食道がんになりやすいことが分かっています。

恵佑会札幌病院では、食道がんの患者さんのおよそ20%が重複がんです。がんの臓器としては、舌、口腔、咽頭、喉頭、肺が代表的で、もちろん日本人に多い、胃や大腸のがんと重複することも多いです。



# 国内初！手のひら静脈認証装置による患者認証システムを導入しました

当院では平成19年10月に富士通株式会社による、手のひら静脈認証装置「PalmSecure（パームセキュア）」を導入いたしました。

国内の医療機関において、手のひら静脈認証技術を患者認証に導入したのは当病院が初めてです。これにより、患者さんの取り違え、投薬ミスなどの医療事故を未然に防ぎ、より安全な医療環境の実現を目指します。

当院では、まず手術予定のある入院患者さんの手術実施時認証から運用を開始しましたが、認証の対象をさらに放射線検査・内視鏡検査・生理検査などの各検査や、輸血、注射薬投与など、リスクの高い医療行為を受ける患者さんへ拡大していく計画です。

今回導入した手のひら静脈認証装置は、手の表面のコンディションに影響されにくく、非接触で衛生的に照合することが可能であり、また、認証精度や認証スピードに優れている点から医療分野での使用に適しています。

使用方法は、患者さんの手のひらの静脈情報を静脈認証装置であらかじめ電子カルテシステム内に登録しておき、手術室へ入室の際、その場で患者さんの手のひらの静脈を読み取り、登録されている静脈情報と照合して本人であることが確認できてから手術を実施するものです。

このことにより、同姓同名をはじめとした患者さんの取り違えを防止するなど、医療事故防止に格段の威力を発揮し、医療安全に貢献します。



▲手のひら静脈認証装置を使った患者認証の様子

当院では今後、手のひら静脈認証装置「PalmSecure（パームセキュア）」と、すでに導入されている電子カルテシステムとの連携により、患者さんの診療記録や投薬・検査・手術などの指示をさらに電子化し、インフォームドコンセント（説明と同意）の充実、医療経営の効率化へと活用を進めてまいります。





## 薬剤科(薬局)のご紹介

当院は院外処方せんを発行していないため、外来患者さんのお薬は全て薬局の窓口でお渡ししています。

医師からの処方内容は電子カルテシステムから直接薬局のコンピューターシステムに流れるので、会計が終わった患者さんは直接薬局窓口へお越しください。お薬引換券にて受付番号、お名前などを確認させていただき、お薬をお渡しいたします。なお、処方内容、混雑状況などによってお待ちいただく場合がございますのでご了承ください。

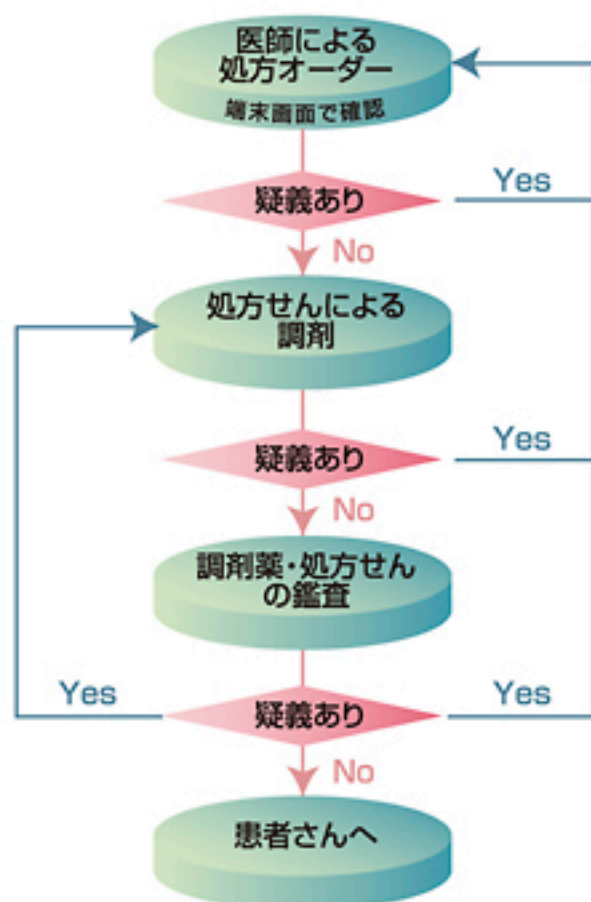
薬局では、患者さんの安全に配慮した業務を行っています。薬局に流れてきた処方内容を鑑査する際に前回処方と照合し、変更の有無や服用する期間などを合わせて確認します。お薬をお渡しする時点で患者さんにご説明しながら一緒に確認し、安心してお薬を服用していただけるよう努めています。

散剤(こな薬)の秤量については、薬びんにバーコードを添付した散剤鑑査システムを導入して秤量の間違い防止を図っています。また、同時に秤量結果の記録紙が発行されるので、最終鑑査の時点でさらに確認を行います。

このように、処方されたお薬は、処方せん発行時、調剤時、最終鑑査時の三段階でチェックし、患者さんにお渡ししています。

さらに、入院患者さんに対しては、お部屋まで服薬指導にお伺いしています。現在、すべての患者さんにはお伺いできておりませんが、これからお伺いできる患者さんを増やしていく予定です。ご入院の際は、「いつも服用されているお薬がある」「時々服用するお薬がある」など、薬剤師がお伺いした際にご相談ください。

### 患者さんにお薬をお渡しするまで



また、抗がん剤による化学療法のレジメン(投薬計画)の管理を行っていますので、病名と使用する薬品・投与量・投与間隔などが正当であるか確認しています。したがって、患者さんが安全な治療を受けることができるよう一翼を担っています。

これからも、患者さんに良い医療を提供できるよう薬剤師の立場から努力していきます。お薬のことでご相談があれば何時でも薬局窓口へお越しください。

## 地域医療連携室からのご案内

地域医療連携室では、地域の医療機関や患者さんから検査などのご予約をお電話で承っております。

予約診療科、検査項目、予約日、担当医などは以下の通りです。 **予約制**

- 予約診療科／外科・呼吸器外科・内科・耳鼻咽喉科
- 予約検査項目／胃カメラ、大腸カメラ・エコー・CT・  
乳がん検診(札幌市のみ)

予約外来／毎週火曜日・内科 塚越副院長

※初診の患者さんもお予約いただけます。

※CTに関しては、地域の医療機関からのご予約のみとなります。

※月・火曜日は、ご予約電話が混雑し、つながりにくくなる場合がございます。

患者さんには大変ご迷惑をおかけいたしますが、しばらくたってから再度お電話をくださいますようお願いいたします。

### お問い合わせは

地域医療連携室

☎011-863-8800  
(直通)

受付時間／14:00～17:00  
(平日の月～金)

※地域の医療機関は  
9:00～17:00

## 医療相談室のご案内

医療相談室では、病気をめぐって起こる様々な問題(例えば医療費や生活費、入院についての不安・心配事、退院後の生活や療養についての心配、年金や社会保険制度、介護保険や身体障害者手帳などの社会福祉制度に関すること、誰に相談して良いか分からないこと等)につ

いて、ともに考え、解決に向けてお手伝いしています。

ご相談内容についての秘密は厳守いたします。ご相談は無料です。ご希望の際には、右記宛てにご連絡、もしくは1階総合受付にお声を掛けてください。医療ソーシャルワーカーが対応いたします。



### お問い合わせは

☎011-863-2101  
(病院代表)

受付時間／9:00～17:00  
(平日の月～金)

医療ソーシャルワーカー  
久住・荒川・石井・福士



# 恵佑会札幌病院でのPET検査利用のご案内

(医療機関向け)

当院では2006年1月にPET/CT検査を開始してから2年が経過しようとしています。この間約4,200件の検査を施行しています。地域医療連携の一環として診療所、病院より検査の依頼を受けております。さらに多くの医療施設からの依頼に応えるべく準備を整えておりますのでご利用ください。

## 1 PET/CT検査のご依頼などは 右記までお電話ください。

予約方法、必要書類、検査適応疾患、検査時の注意事項などに関して担当者が迅速に対応いたします。

### お問い合わせは

恵佑会放射線  
画像センター  
☎011-866-2040  
担当/小山田

## 2 PET/CT検査後の結果ならびに レポートは郵送されますが、 2007年10月からインターネットの 利用でオンラインで配信されています。

このサービスで、当院での放射線画像電子配信(PACS)と同様の利用が可能となります。ただし、本サービス利用(無料)に関しましては、患者さんの情報保護の観点から当院と利用される医療施設との契約が必要となります。

詳しくは、下記の当院ホームページをご利用ください。

恵佑会札幌病院ホームページ(インターネット接続のご案内)  
<http://www.keiyukaisapporo.or.jp/renkei.html>

## 編集 後記

電子カルテシステムが導入され、ますます便利になってきていますが、いつも人と人とのつながりが大事なのだと思って日々の診療や業務を行っています。医療を取り巻く状況は

厳しいものがあり、新聞などいろいろ報道されていますが、人間誰でも感謝の言葉をもらったときが一番心落ち着くと思います。

編集責任者 穂刈 格

# 医療法人 恵佑会札幌病院

理事長・院長 細川 正夫

- 所在地 〒003-0027  
札幌市白石区本通14丁目北1番1号
- 電話・FAX番号 TEL 011-863-2101 (代表)  
FAX 011-864-1032
- 診療科目 外科・消化器科・呼吸器科・気管食道科・  
呼吸器外科・耳鼻咽喉科・形成外科・放射線科・  
麻酔科・泌尿器科・アレルギー科(耳鼻)・  
歯科・歯科口腔外科
- 病床数 一般272床(内24床緩和ケア病棟)
- 併設施設 恵佑会臨床病理学研究所  
恵佑会放射線画像センター
- 面会時間 平 日 午後3:00～午後7:30  
土日・祝日 午前10:00～午後7:30
- 各病棟電話番号 [1病棟] ☎864-9958 [2病棟] ☎864-9979  
[3病棟] ☎864-9980 [4病棟] ☎864-4276  
[5病棟] ☎864-4278 [6病棟] ☎864-4277  
(午後9:00以降のお電話は、緊急時以外ご連絡ください)
- 交通機関 地下鉄/東西線「南郷13丁目」駅下車、徒歩約7分  
(3番出口より国道12号線方面へ約500メートル)  
JR北海道バス/JR北海道バスターミナル  
札幌駅・新札幌駅・北広島方面より  
1、1-1、13、15、22、24、26、33、34に  
ご乗車ください。  
中央バス/地下鉄東西線白石駅バスターミナルより  
34にご乗車ください。  
バスはすべて「白石神社前」で下車(快速以外は停車いたします)

